

不二サッシ株式会社との 「Mizuho削減貢献量インパクトファイナンス」の契約締結について

株式会社みずほ銀行（取締役頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、不二サッシ株式会社（代表取締役社長：江崎 裕之、以下「不二サッシ」）との間で、「Mizuho 削減貢献量インパクトファイナンス」（※1、以下「本商品」）に関する融資契約を締結しました。

本商品は、持続可能な開発のための世界経済人会議（WBCSD）発行のガイダンスや GX リーグの機会開示に関する基本指針等を参考に、独自に開発した評価手法を用いて、みずほ銀行が企業の削減貢献に関する開示や取り組みを評価し、一定のスコアを満たしたお客さまに対して融資を行うサステナブルファイナンス商品です。

みずほ銀行は、継続的なモニタリングとエンゲージメント（建設的な対話）を通じて、国内企業における削減貢献の取り組みの普及・促進に貢献します。

なお、評価手法を含む本商品のフレームワークについては、株式会社日本格付研究所（以下「JCR」）より、環境省の「インパクトファイナンスの基本的考え方」に適合する旨の第三者意見書を取得しています。（※2）

不二サッシは、サステナビリティ委員会を中核としてサステナビリティ経営を推進しています。主な事業はアルミサッシ等建材の製造・販売であり、環境面では脱炭素および資源循環が重要な社会課題となります。そのため、断熱サッシの販売を通じて、お客様が使用する空調のエネルギー由来のCO₂排出量削減に貢献しています。さらに、リサイクルアルミ率100%の低炭素アルミ建材「Reサッシ R100」を標準展開することにより、製造段階のCO₂排出量も削減しています。

みずほ銀行は、不二サッシが全てのステークホルダーから選ばれ誰もが安定・安心できる企業をめざす中で、「サステナビリティビジョン 2050」を表明し、2050 年カーボンニュートラルに向けて、中長期の CO₂ 削減ビジョンを策定していること、設備の低炭素化・低炭素アルミ製品の取組強化を行っていること、削減貢献量の定量値を開示していること、削減貢献ソリューションの開示をしていること等、評価モデルに使用している指標において高い水準で満たしていることを評価しています。

〈みずほ〉は「削減貢献量」を活用したグループ一体でのソリューションの提供を通じて、お客さまとともに、インパクトと収益の創出による好循環を実現し、社会課題の解決と企業価値の向上をめざします。

＜案件の概要＞

融 資 先：不二サッシ
貸 付 人：みずほ銀行
契 約 金 額：10億円
実 行 日：2026年8月31日
期 間：5 年

※1：「Mizuho削減貢献量インパクトファイナンス」の商品概要にかかるウェブサイト

<https://www.mizuhobank.co.jp/corporate/sustainability/aEIF/index.html>

※2：株式会社日本格付研究所のウェブサイト

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

以 上